

大学で学ぶコツをつかもう! 実践編 ワークブック付き

知のツールボックス 改訂版

《新入生 援助集》

専修大学出版企画委員会 (委員長 大庭健文学部教授) では、高校までとは異なる「大学」での勉強の仕方について、新入生(フレッシュマン)の戸惑いを解消するため、「知のツールボックス」を2006年に刊行した。1年次生全員に配布され、全学的に初年次導入教育に活用されているほか、全国の書店でも扱われ、多くの大学でテキストとして採用され、好評を博している。本年4月、教員や学生からのアンケート結果を参考に、別冊ワークブック付きの改訂版を刊行。学部新入生にはガイダンスで配布された。



ワークブックを活用しよう

コミュニケーションを活用する「まで」、「自ら動かなければ何も始まらない」大学での学びに順応できるように、8人の教員が分かりやすく執筆した。改訂版は、文字を簡略化し、図表も分かりやすく工夫して「読む本」より「見ればわかる本」に近い。読むだけでなく、実際に使ってみることを促している。ワークブックは、ステップ1から3まで難度を上げながら、ステップアップできる仕組みになっており、自習用としても活用できる。本書のお問い合わせは、専修大学出版局へ。

「私の授業」を掲載した。実践例を集めた「私の授業」や、学生参加型の授業評価を行っている法学部の事例を掲載した。同委員会内に設けた編集委員会にて内容を再検討し、教員の寄稿を中心に第3版が3冊出版された。第2版は、月末に刊行された。本書は、他大学にも送付しており、大学の取り組みに対して、高い評価の声が届いている。第3版は、各学部や教養科目などで行われている「教育改善への組織的な取り組み」、専門・語学・教員が分かった。個別に分散している、それぞれが工夫を共有し、つなぎ合わせる工夫を共有している。これらを通じて発展させることが、大学の教育力をさらに底上げすることに繋がると話している。

授業の ツールボックス

《第3版を刊行》

専修大学出版企画委員会(委員長 大庭健文学部教授)では、高校までとは異なる「大学」での勉強の仕方について、新入生(フレッシュマン)の戸惑いを解消するため、「知のツールボックス」を2006年に刊行した。1年次生全員に配布され、全学的に初年次導入教育に活用されているほか、全国の書店でも扱われ、多くの大学でテキストとして採用され、好評を博している。本年4月、教員や学生からのアンケート結果を参考に、別冊ワークブック付きの改訂版を刊行。学部新入生にはガイダンスで配布された。問題が与えられたら、「第7章・ネットの活用」から、「第7章・ネットの活用」まで活用できる。本書のお問い合わせは、専修大学出版局へ。

教員の寄稿中心に構成

授業づくりの工夫や改善に役立つ

044(90)78047



まとめたもので、学生が自力で成果発表の場を作り上げていくプロセスで経験した苦労や葛藤にも踏み込んだ力作として話題になりました。皆さんも自分たちの活動を本にしてみませんか? 興味のある方は、ポータルの応募要項を確認のうえ、出版企画委員会事務局(生田キャンパス9号館6階 学長室企画課) ☎044(911)1252までお問い合わせください。

専修大学出版企画委員会では、ゼミやサークルなどを母体として、学生が自発的に取り組んだ創造的な活動で、在学生、一般の方々、高校生などの参考になるような活動について、学生自らが企画・執筆する本の刊行を推進しています。07年2月に第1号として出版されたネットワーク情報学部生5人による『学生が実現した展示会 ポクラの Cousa展ものがたり』=写真=は、学外展示会「Cousa展」誕生の経緯や過去3回の展示会の舞台裏を縦軸に、出展された研究成果の紹介を横軸に

学生による出版企画・執筆を募集!

専修大学出版企画委員会

就職課です

採用活動は終わっていない! 現在、残念ながら内定を得ていないという人は、ナビでエントリーできる企業が少なくなってきた、もう応募できる企業はないか? と思ってはいないだろうか? 企業の採用活動はまだ継続中だ。【学内企業説明会開催!】 専大生を積極的に採用したいと考えている企業が5月に生田・神田の両キャンパスに集結! 生田では5月20日(水)から22日(金)の3日間で約200社、神田は、5月16、23、30日の採用情報をお知らせします。掲載されている求人は、就職課スタッフが採用担当者へお話を確認しており、特別にお勧めする企業も。公開ファイルには、募集職種や業務内容、さらには企業の特徴など、聞き出した情報を掲載している。こまめにチェックし応募しよう。(5月25日(月)から毎週2回更新)



▲チャンスが広がる学内企業説明会

【就活パワーアップ!】 講座で実力UP! エントリーシートや面接で、言いにくいことがうまく伝わらない。そんな悩みを解消するのが、この講座。必ず聞かれる「自己PR」「志望動機」を企業側の意図を確認しながら解説し、講座内で実際に作成する。また、面接を苦手だと感じている人向けに模擬面接やワークを取り入れた実践型の講座も用意。いまさらではなく「今から」だ。〈生田〉総合編6/6(土) 〈神田〉自己PR編5/18(月)、6

春季関東学生囲碁団体戦



▲表彰される囲碁部のメンバー

囲碁部、大健闘 初の1部で準優勝 春季関東学生囲碁団体戦が5月3日から5日に明治大学で行われ、一昨大学が早稲田を3勝2敗年春、5部からスタートで破り、本学を含む3校が勝ち点6で並んだ。勝し半生ごとりにリグ昇格が勝ち点6で並んだ。勝の快進撃を続ける本学の数で早稲田と29で並んだ囲碁部が、大健闘をみせた。初日の早稲田大学との対戦は、2勝3敗で勝ち点を逃す。最終日、慶応明治大学で行われ、一昨大学が早稲田を3勝2敗年春、5部からスタートで破り、本学を含む3校が勝ち点6で並んだ。勝し半生ごとりにリグ昇格が勝ち点6で並んだ。勝の快進撃を続ける本学の数で早稲田と29で並んだ囲碁部が、大健闘をみせた。初日の早稲田大学との対戦は、2勝3敗で勝ち点を逃す。最終日、慶応明治大学で行われ、一昨大学が早稲田を3勝2敗年春、5部からスタートで破り、本学を含む3校が勝ち点6で並んだ。勝し半生ごとりにリグ昇格が勝ち点6で並んだ。勝の快進撃を続ける本学の数で早稲田と29で並んだ囲碁部が、大健闘をみせた。

講座情報

【経済学部国際経済学科公開講座】 統一テーマ『国際金融危機と新興国』 中国経済、地球温暖化問題、エネルギー問題、中南米の課題などテーマ別の講演。▶期間=5月30日(土)~7月11日(土)*6/27を除く毎週土曜・全6回*1回の受講でも可▶時間=10時45分~12時15分▶場所=生田キャンパス▶図:教務課経済学部 ☎044(911)1257

【社会知性開発研究センター/言語・文化研究センター国際公開講座】 『気づかれざるバイアス:行動にひそむ心理』 ▶日時=6月6日(土)11時~17時▶場所=神田キャンパス▶図:社会知性開発研究センター ☎044(911)1347

専修大学商学研究所新書 『企業経営とリスク マネジメントの最新潮流』 上田 和勇編著 05年度から3年間におよぶ商学研究プロジェクト「企業経営と現代的リスクマネジメント」の研究成果の一部が8本掲載されている。リスクマネジメント(以下、RM)の概念、その方法の変遷から始まり、現代企業において重視されるリスク(戦略リスク、情報開示リスクなど)、RMに関する国家規格・国際規格などについて検討するとともに、中小企業におけるRM、CSRや企業文化の問題を企業経営や企業価値最適化の視点から検討したものである。 RMが企業価値を左右させる重要な概念であり、方法であることがわかる(白桃書房・本体2800円+税)。 編著者(うへだ・かずお)は商学教授。主な担当は保険論、リスクマネジメント。

専修人の新しい本 グアテマラ内戦後 人間の安全保障の挑戦 狐崎知己ほか編著 1960年から36年におよぶ内戦が続いた中米グアテマラ。本書では復興が進まないうちから戦後の課題を挙げ、処方せんを示している。恐怖からの自由、欠乏からの自由という一人一人の安全保障をテーマに、文化人類学、政治学、経済学、農学などの研究者が多角的にアプローチした。編著者のひとりである狐崎教授は、自身がコーディネーターとなって本学や道の「若田21」(広島県)など日本各地で展開されたJICA研修(2005年、07年)を紹介。同研修は「復興は地方から」と先住民の開発リーダー育成が狙いで、市長やNGO幹部などの若手男女30人が参加。地方公共政策の改善を任に展開された。研修の成果が同国で生かされている実例も報告している(明石書店・本体5000円+税)。 編著者(こざき・ともみ)は経済学部教授。主な担当はラテンアメリカの経済。